

2020年サクラだより5

奄美・沖縄地域における「ヒカンザクラ」の開花異常

1. 序

・ヒカンザクラ（緋寒桜、バラ科サクラ属、学名：*Cerasus campanulata* (Maxim.) Masam. & S.Suzuki) は日本のサクラの原種の一つとされ、旧暦の正月あたりに咲くことからガンジツザクラ（元日桜）と呼ばれることもある。本州ではカンヒザクラと言われることが多い。原産は中国南部、台湾で沖縄地方にはいつの時代かに移入され、現在は野生化もしている。早咲きの桜であり、本州でも関東以南に園芸種として植栽されている。また、交雑や交配による園芸種が創出されている。伊豆半島の春を告げる桜として有名な河津桜は本種とオオシマザクラの交雑種と言われる。

2. 気象台のデータ

気象庁の各気象台では一般の気象観測の他に「生物季節観察」がなされている、その中でもサクラは重要な観察対象樹木で本州では「ソメイヨシノ」が基準種に選ばれている。しかし、奄美・沖縄地区ではソメイヨシノは開花しないので、この地区の観察基準樹種とし「ヒカンザクラ」が選ばれ、現在奄美以南の沖縄・宮古島・石垣島・南大東島の5地点で観測され、開花、満開の日が公表されて来ている。

2018年までは、この地域の気象台からは、毎年ヒカンザクラの開花と、満開日のデータが公表されて来ていたが、今年は「開花」の日は発表されているものの、未だに「満開」の発表されていない地域が出てきている。下表にこれ等の地域での開花日、満開日の平年値と今年のデータをまとめた。

場 所	ヒカンザクラ開花日		満開日	
	平 年	2020年	平 年	2020年
名 瀬	1月19日	1月23日	1月30日	2月7日
沖 縄	1月18日	1月6日	2月2日	2月3日
宮古島	1月16日	2月7日	2月5日	—
石垣島	1月16日	1月29日	2月5日	—
南大東島	1月20日	2月6日	2月2日	—

宮古島、石垣島、南大東島では未だに満開日は発表されていない。

3. データの解析

平年値（1981～2010年の平均）で各地の開花から満開に至る日数を調べて見ると、名瀬（奄美）で11日間、沖縄で15日間、宮古、石垣では20日間となっている。南へ行くほど開花から満開までの日を要することが分かる。

また、記録的な暖冬といわれる今年は奄美では15日間、沖縄では28日間と長くなっており、恐らく宮古島以南では満開には至らないのではないと思われる。

因みに昨年は奄美では開花が1月23日、満開は2月7日、沖縄では1月10日の開花で満開が2月12日、石垣では1月16日の開花で、満開が2月8日と発表されている。ところが宮古島では、1月7日に開花に観測されているが、満開の日は記録されていない。



調べて見ると、下記のような記事が見つかった。少し長くなるが抜粋しておく。

*タイトル「宮古島の桜に異変?!」

(出典 2019.3.4 13:48tenki.jp)

「3月に入ったというのに、沖縄の宮古島ではヒカンザクラの標本木が満開になっていません。気象台にある標本木で開花を観測したのは1月7日で、平年より9日早い開花でした。本州のソメイヨシノは開花から1週間前後で満開を迎えますが、ヒカンザクラは比較的ゆっくりと咲き揃い、開花から満開まで2～3週間かかります。宮古島のヒカンザクラは平年で24日程度かかり、満開日の平年は2月5日です。今年は開花からすでに2か

月近く経っています。宮古島地方気象台の方にお話を伺ったところ、先週の段階で花が咲いていたのは6割程度で、満開の基準となる8割以上に達していないとのことでした。蕾が残る一方で、葉も出ている状態だそうです。花が咲き揃わない原因は、気象台の方も分からないとのことでした。」
昨年度、上記のような理由から、花が満開の基準とされる80%には至らなかったから「満開」日の発表がなかったと思われる。

また、今年1月29日に開花が発表された石垣島へ、10日ほどたった2月8日に訪問する機会がありましたが、開花の状況は1分や2分といったものではなく未だチラホラ咲きという状態でした。(下の写真：石垣島パンナ公園にて)



まとめると

- ・ 沖縄・奄美での今年の「ヒカンザクラ」の開花は、沖縄を除いて平年より遅れ気味。名瀬（奄美）を除いて平年との差が大きい。また、南方の3島の遅れ幅が大きい

- ・ 平年値で見れば、開花から満開までの日数は南へ行く程長くなっている。しかし、今年は南方の満開の記録は今だになく、満開に至らない可能性が高い。

4. 考察

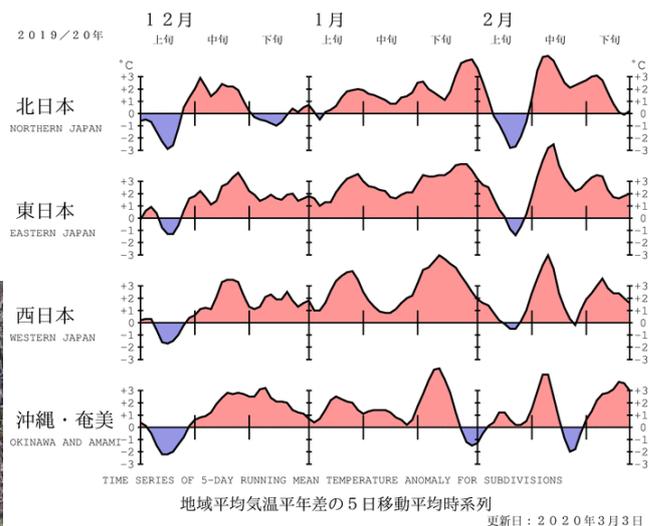
3月3日に気象庁から今年の冬季、12～1月の全国の気温経過が発表されている。(次図参照) これによると奄美・沖縄も平年に比べかなり気温が高く推移したことが分かる。

一般的には、気温が高くなるほど開花が早くなり、花期が短くなるのが普通である。事実、近郊では、ミモザやハクモクレンといった例年では3月中旬以降にしか花の見られない木々の開花が、

既に始まっている。

奄美・沖縄地域でも気温のトレンドから見ればカンヒザクラの開花が早くなり、花期が短くなくても不思議ではない。しかし事実は逆、開花は遅れ、満開までの日数が増えるどころか、未だに満開の発表がない地域も出てきている。

前3か月間の気温経過



* 下記は今年の沖縄桜祭りPRの観光案内です。

「2020年1月18日から始まる沖縄本島の桜まつり。沖縄は不思議と北から南へ、山頂から麓へと桜が開花していきます。一番最初は本部八重岳山頂からの開花、那覇市内は2月中旬から下旬にかけてが桜祭りとなっていきます。日本一早い桜のお花見と祭のイベントを楽しみましょう！」

この地域では、下線をほどこした事柄は常識、見方を変えれば開花や満開は春期の気温の低い地域から始まるということになります。

引用した2件の文献、下線部分の記述、「桜の開花には、春期の気温だけでなく、花芽の「休眠打破」の時期が影響することを考えれば全て明快に謎解きが出来る。

即ち、「ヒカンザクラ」も桜です。花芽が休眠打破されなければ花は咲かない。また、花芽が休眠打破されるには、低い温度の日が一定期間必要です。晩秋～中冬の気温が影響し、この期の温度が低いほど休眠打破の期日は早くなると考えられる。

前出の、PR誌の開花は本州とは逆で、北から南へ、山頂から麓へと進むということは、奄美でも聞き、実際体験もしました。このことは開花期の

気温よりも、休眠打破の期が優先すると考えれば明白でしょう。

なお、奄美・沖縄地区のヒカンザクラの開花の平年値が、ほぼ一定になっているのは、この期間は温暖化の影響は小さく、休眠打破は遅れてもその後の気温が高いので、相殺され内容はともかく開花時期は一定となったと考えられる。開花から満開の期日は普通に考えれば、この期の気温の高い南方ほど短くなるはずであるが、事実逆。これも、休眠打破の期日の幅が広がり、個々の花の開花に期日に差がでて幅が広がったと考えれば納得がゆく。

なお、「ヒカンザクラ」の原産地・台湾で、同地でも標高500m以上の山地でないと自生がみられなのは、平地では気候上休眠打破されるような条件とはなり得ない為と考えられる。

台湾に緯度が近い沖縄地区は「ヒカンザクラ」は平地では南限？と考えられる。今年の冬期の気温は前出の図から分かるように、平年とは随分高めに推移しました。この結果、沖縄ではかろうじて休眠打破が進んだものの、それ以南の宮古島や石垣島では休眠打破は一部か、僅かしかすすまなかったのであろう。

なお、南限近くに咲く桜に、年によっては春先の気温が高いのにも関わらず、開花日が遅れたり、満開にはいたらず、葉が展開したといったといった現象が生じるのは何もこのヒカンザクラに限ったことではなく、本州の標準木である「ソメイヨシノ」にも表れている。南限とされる、種子島では開花はあるが、満開は観測できない年があると聞く。また、ここ2、3年の開花傾向、また今年の開花予報でも、九州地区では南方の鹿児島や宮崎より、北部の福岡、長崎の開花の方が数日早いと発表されている。

観測史上、希な暖冬となった今年、近郊のソメイヨシノはどのような花の季節を見せてくれるでしょう。

開花前の休眠打破の状況、開花日、満開日の調査に加え、散り始め、最後の花の開花日、開かなかった花芽、さらに展葉（公式の0～4評価）皆さんも観察されては如何。

*本報では、一応今年の「ヒカンザクラ」の開花について、既報告分も含め報文形式にまとめました。一読下さい。

「ヒカンザクラ」のお話しは本報で終わり。

*「休眠打破」の観察テストの状況。

正式には皆さまと同じ、1日採取枝から観察を始めました。この枝には今朝の時点では変化はみられません。ただし、2月26日に採取し、スタートした枝では、約半数の花芽が膨れ、変化が出てきました。変化が現れるには1週間～10日ほどかかるようです。

なお、2月始めからスタートした枝は変化なし(すべての芽がこの時点では休眠打破されていない?)、2月3日採取の枝では花芽1個が開き、開花。葉芽1個が展開始めています。

詳細は後日纏めて報告します。

*宿題とした「休眠打破」の促進法、ゆめゆめ「冷蔵庫」に入れるなどとはお答えにならないよう。「ぼーっとすのじゃねえよ!!」とチョコちゃんに叱られますよ。

*西宮・神戸でも新型コロナウイルスの患者が発生、もはや当地も「グリーンゾーン」ではなくなりました。お互い、外出等気をつけ自己防衛しましょう。

**ボケ防止を目的に気の向くまま勝手に書いています。分を見直すようなことはしませんので誤転換や脱落があるやもしれません。ご容赦のほど。

ご意見、反論、質問なんでも可、歓迎します。

以上

